

令和 07 年度				調査			
町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換工事				設計書			
工事番号				施工地			
R7阿建社交第1-001号(R6繰越明許)				東蒲原郡阿賀町 津川 地内			
		実 施 ・ 元		変 更			
設計額		円		円			
契 約 額		円		円			
(内消費税額)		(円)		(円)			
工事・履行日数		工事日数 155 日間		日間(付与日数 日間)			
		又は 完成期限 年 月 日		完成期限 年 月 日			
実 施		施工延長 L=237m		変 更			
(元)		消雪パイプ打換工(φ65～75) L=237m					
設計概要				設計概要			

施 工 条 件 総 括 表

下記項目、事項のうち○印欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者（町）と協議し、適切な措置を講ずるものとする。

明 示 項 目	施 工 条 件
1 工 程 関 係	1. 関連する別途発注工事 （ なし ） ・ 工 事 名： ・ 予 定 期 間：
	2. 施工時期、時間、方法の制限 （ なし ） ・ 時 期： ・ 時 間： ・ 方 法：
	3. 関係機関協議による工程条件 （ なし ） ・ 協 議 内 容： ・ 完了予定時期：
	4. そ の 他
2 用 地 関 係	1. 工事用地等の未処理部分 （ なし ） ・ 処 理 見 込 時 期： ・ 区 間：
	2. 仮設ヤードの指定 （ なし ） ・ 場 所： ・ 期 間：
	3. そ の 他
3 公 害 対 策 関 係	1. 公害防止の制限（騒音・振動、排出ガス、粉じん、水質等） （ なし ） ・ 施 工 方 法： ・ 作 業 時 間：
	2. 家屋等の調査の必要性 （ なし ） ・ 方 法： ・ 範 囲：
	3. そ の 他

明 示 項 目	施 工 条 件
④ 安 全 対 策 関 係	①. 交通安全施設等の指定 (あり) ・ 交 通 誘 導 員 : 交通誘導員B 40人日を設計計上 ・ その他施設等 :
	2. 近接作業制限(鉄道、ガス、水道、電気、電話等) (なし) ・ 内 容 : ・ 工 法 制 限 : ・ 作 業 時 間 制 限 :
	3. 発破作業 (なし) ・ 保安設備及び保安要員 : ・ 防 護 工 : ・ 作 業 時 間 制 限 :
	4. 防護施設(落石、雪崩、土砂崩落等) ・ 内 容 :
	5. そ の 他
5 工 事 用 道 路 関 係	1. 一般道路を搬入路としての使用制限 (なし) ・ 搬 入 経 路 : ・ 期 間 : ・ 使用後の処置 :
	2. 一般道路の占用 (なし) ・ 期 間 : ・ 規 制 条 件 : ・ 時 間 制 限 :
	3. 仮設道路設置 (なし) ・ 工法指定の有無 : ・ 用 地 関 係 : ・ 安 全 施 設 : ・ 工事完了後の「存置」または「撤去」 :
	4. そ の 他
6 仮 設 備 関 係	1. 仮設備の指定 (なし)
	2. 仮設備の条件指定 (なし)

明 示 項 目	施 工 条 件
6 仮 設 構 造 物 関 係	3. 仮設構造物の転用、兼用 （ なし ） ・ 工 種 : ・ 内 容 : 4. イメージアップ （ なし ） ・ 内 容 : 5. そ の 他
7 残 土 ・ 産 業 廃 棄 物 関 係	別紙「建設副産物特記仕様書」のとおり 発生する建設残土は指定する処分場へ搬出すること
8 工 事 支 障 物 件 等	①. 占用支障物件あり（電気、電話、水道、ガス等） （ あり ） ・ 内 容 : 近接に水道、下水道あり ・ 移設、撤去、防護方法等 : ・ 時 期 : 2. 占用物件重複施工 （ なし ） ・ 内 容 : 3. そ の 他
9 排 水 工 （濁水処理含む）	1. 濁水、湧水処理等の特別な対策 （ なし ） ・ 内 容 :
10 薬 液 注 入 関 係	1. 薬液注入工法 （ なし ） 別紙条件明示による
11 そ の 他	1. 現場発生材 （ なし ） ・ 品 名 : ・ 納 入 場 所 : 2. 支給品及び貸与品 （ なし ） ・ 品 名 : ・ 引 渡 場 所 : 3. 品質証明の必要 （ なし ） 標準仕様書第1編（章）1－1－25による 4. その他

明 示 項 目	施 工 条 件				
⑫ 排 出 ガ ス 対 策 型 建 設 機 械 及 び 低 騒 音 建 設 機 械	1. 排出ガス対策型建設機械 本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3年10月8日付建設省経機発第249号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着（黒煙浄化装置付）することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機 種</th><th>備 考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの [油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機] ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン </td><td>ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。</td></tr> </tbody> </table> 2. 低騒音建設機械 本工事において「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」（昭和62年3月30日建設省経機発第58号）に基づき低騒音型建設機械の使用が原則となる場合は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年建設省告示第1536号）に基づき指定された低騒音型建設機械を使用するものとする。ただし、これにより難しい場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、請負者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	機 種	備 考	一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの [油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機] ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。
機 種	備 考				
一般工事用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル（車輪式） ・ブルドーザ・発動発電機（可搬式） ・空気圧縮機（可搬式） ・油圧ユニット 以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの [油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機、全回転型オールケーシング掘削機] ・ロードローラ、タイヤローラ・振動ローラ ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kw以上260kw以下）を搭載した建設機械に限る。				
⑬ 施 工 方 法 等	・施工条件総括表、図面、仕様書、現場説明書及び現場説明に対する質問回答書に特別に定める場合を除き、仮設、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な手段は、請負者の責任において定める。（建設工事請負基準約款1条第3項による）				

建設副産物特記仕様書

1. 再生資材の利用

下記資材の使用に際し、再生資材を利用すること。

再生資材名	規格	使用箇所	再資源化施設名・所在地	備考

2. 建設発生土の利用

盛土等に使用する発生土は、下記の工事からの建設発生土を利用すること。

発注機関	工事名	発生場所	施工会社名・連絡先	備考

3. 建設発生土の搬出

工事の施工により発生する建設発生土は、下記の場所に搬出すること。

受入工事名／施設名称			
工事場所／施設所在地			
連絡先			
受入時間			
受入費用			
仮置場所の有無			
備考			

4. 建設廃棄物の搬出

工事の施工により発生する廃棄物は、下記の場所に搬出するものとし積算している。

搬出する廃棄物名	無筋コンクリート殻	鉄筋コンクリート殻	アスファルト殻	汚泥（ ）
処理施設名称		(有)富士建材 中間処理施設	(有)富士建材 中間処理施設	
施設所在地		阿賀野市六ノ瀬2482番1外	阿賀野市六ノ瀬2482番1外	
連絡先		0250-68-2890	0250-68-2890	
受入時間		—	—	
受入費用		設計に計上	設計に計上	
備考				

上表は積算上の条件であり、処理施設を指定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。
ただし、現場条件や数量の変更等、請負者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

5. 建設リサイクル法の対象工事において、特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは、法第18条に基づき再資源化等完了報告書を提出すること。

6. 自ら産業廃棄物を運搬・処分する以外は、委託契約書の写しを提出すること。

7. 協議について

建設工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定や条件によりがたい場合は、速やかに発注者に報告し、協議すること。

「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和7年4月) 特記仕様書

本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して月単位の週休2日(現場閉所)に取り組む旨を協議した上で工事を実施する「週休2日適用工事(現場閉所)」受注者希望方式の対象案件である。なお、通期の週休2日(現場閉所)について、受注者は協議にかかわらず取り組むものとする。

通期の4週8休以上(現場閉所率28.5%(8日/28日))以上の水準に達する状態を前提に、補正対象経費に通期の週休2日補正係数を乗じて予定価格を作成している。

受注者は、「「週休2日適用工事(現場閉所)」(令和6年10月)実施要領」に基づき、月単位の週休2日(現場閉所)の取組の希望の有無を工事着手前に、監督員と打合せ簿により協議するものとする。

現場閉所の達成状況より、月単位を希望して月単位の4週8休以上を達成した場合は、月単位の週休2日補正係数に設計変更する。月単位を希望して月単位の4週8休に満たない場合、月単位を希望せずに月単位の4週8休以上を達成した場合は、通期の週休2日補正係数のままとする。通期の4週8休に満たない場合は、補正分を減額変更するものとする。

(参考)

県要領の電子データは、新潟県ホームページから入手できるので参考とすること。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/gijutsu/1356857978573.html>)

設計図書における利用コード一覧表

設計図書における本工事費内訳表および施工内訳表などに記載のあるデータコードは下記のとおりとなっています。

※データコード中の“x”は任意の半角英数字（xの数も任意），“n”は任意の半角数値です。

1 単価コード

・単価コードにおいて新潟県土木工事等基礎（公表）単価表に掲載のある単価については、コードが対応しています。（その他以外）

労務単価	Rxxxxxxxxx	RRxxxxxxxx	TRxxxxxxxx					
資材単価	TZxxxxxxxx	Txxxxxxxxx	TTxxxxxxxx	TVJxxxxxxxx	TRxxxxxxxx	TMNxxxxxxxx	TNxxxxxxxx	TZPxxxxxxxx
機械・仮設材の賃料・損料	TLxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx	KExxxxxxxx	TMxxxxxxxx	TZUxxxxxxxx	Mxxxxxxxxx	MMxxxxxxxx	
市場単価	TAxxxxxxxx	TBxxxxxxxx	TCxxxxxxxx	TDxxxxxxxx	TGxxxxxxxx	TQxxxxxxxx		
その他	T9999001~T9999099※	Fxxxxxxxxx	Wxxxxxxxxx※	TFJxxxxxxxx※	TYxxxxxxxx※			
東京単価	RR9xxxxxxxx	TZ09xxxxxxxx	TZP9xxxxxxxx	TL09xxxxxxxx	MM09xxxxxxxx	TQ09xxxxxxxx		

その他のものは単価等を個別に設定しており、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表から単価を引用している場合があります。

※は同一コードでも異なる単価が入力されている場合があります。詳細は入札資料を参照してください。

2 施工コード

①下表のコードは各積算基準の施工コード一覧表と対応しています。 ※

積算基準〔1 県版〕	Sxxxxxxxxx	SCBSxxxxxxxx
積算基準〔2 調査関係〕	SAxxxxxxxx	SBxxxxxxxx
	SCxxxxxxxx	SDxxxxxxxx
積算基準〔3 港湾〕	SDHxxxxxxxx	SExxxxxxxx
	SSHxxxxxxxx	
積算基準〔4 下水道〕	SWGxxxxxxxx	

②下表のコードは積算基準での表記と異なります。 ※

積算基準名	設計図書コード	積算基準の表記
積算基準〔1 一般土木〕全国版	SWBxxxxxxxx	WBxxxxxxxx
	SCBxxxxxxxx	CBxxxxxxxx
積算基準〔4 公園緑地〕	SWCxxxxxxxx	WCxxxxxxxx
積算基準〔6 機械・電気通信〕	SWExxxxxxxx	WExxxxxxxx
積算基準〔5 建設機械損料表〕	MMJxxxxxxxx	Kxxxxxxxxx

※①・②記載のパッケージコードについて修正している場合があります。詳細については、6 パッケージコードの修正についてを参照してください。

③下表のコードは個別の案件で設定

名称、単価、単位等を設定	S0900※	S0901※	SE918※	
名称、労務数量等を設定	SA901※	SA902※	SA910※	SC900※
全ての歩掛を独自設定	Vxxxxxxxxx			

※同一コードでも異なる歩掛を設定している場合があります。

3 機械運転単価コード

各施工歩掛内で使用しています。内訳については帳票の量が多くなるため出力していませんので、積算基準を確認してください。

積算基準の機械運転単価表に記載のある「機－〇〇」は、積算基準〔1 一般土木〕県版に適用単価表が記載されています。

SWKxxxxxxxx	積算基準において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SWMxxxxxxxx	積算基準〔4 下水道〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。
SKxxxxxxxx	運転労務数量、燃料消費量を積算基準〔5 建設機械損料〕により決定します。ただし、条件を個別設定する場合もあります。
SDHTxxxxxxxx (SZxxxx)	積算基準〔3 港湾〕において運転労務数量、燃料消費量および機械損料数量が指定されています。

4 その他コード

#0n	所定の率で雑材料の経費を計上しています。
#7n	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように所定の率以内で諸雑費計上する処理を行っています。
#80	単位数量当り単価の合計金額が有効数字4桁になるように端数を計上する処理を行っています。
+00	施工コードにおいて歩掛全体を割増す場合に用いるコードです。
Xn000	工事の場合は本工事、附帯工事、補償工事などの費目コード、委託の場合は測量、調査、設計などの業務コードです。nは1～4。
Yxxxxxxxxxx	新土木工事積算体系における工事工種のコードです。nは1～4工種レベル、zの場合は共通仮設工種。
Zxxxx	共通仮設費、現場管理費、一般管理費のコードです。
管理費区分	「0 省略」は設定無し、「1 桁等購入費」、「5 鋼橋門扉等工場原価」、「T 処分費」等は積算基準〔1 一般土木〕県版を参照してください。「N 直接人件費」、「N1 直接人件費(電子対象外)」については、7 業務委託の管理費区分を参照してください。

5 単価入力データ一覧表について

以下の①～⑤単価コードについては単価入力データ一覧表に関連情報※が記載されています。

同一コードでも異なる単価が入力されている場合がありますので、詳細は入札資料を参照してください。

①本表1 単価コードのその他に記載されている単価コード。

②単価コードに単価値が設定されておらず、積算者が単価を逐次入力した単価コード。

③代表機労材規格および名称・規格の記載内容を修正（変更、追記）した単価コード。

④パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を減額処理した単価コード。

⑤パッケージコード※において積算地区の代表機労材規格を置換えした単価コード。

※関連情報とは、対象となる単価コードとその名称と単位、および、対象コードを使用している本工事費内訳表に記載のコード、名称、第番号です。

※パッケージコードとは施工コードのSCBxxxxxxxx, SCBSxxxxxxxx, SSHxxxxxxxxのことです。

6 パッケージコードの修正について

単価入力データ一覧表に記載されている単価コードを含むパッケージコードは修正となります。

修正した箇所には、施工内訳表の積算地区の代表機労材規格の項目（例：Z1t'）に「修正」と記載されます。

詳細については施工内訳表および単価入力データ一覧表を参照してください。

※本表5の①～③に該当する単価コードであっても、施工条件の入力により単価値、名称、規格が変更された代表機労材規格は対象外です。

※本表5の④の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*減額処理*」と記載されます。

※本表5の⑤の修正単価については、単価入力データ一覧表金額欄に「*単価置換*」と記載されます。

7 業務委託の管理費区分

「N 直接人件費」は測量業務諸経費体系および設計業務諸経費体系での直接人件費を示します。詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

「N1 直接人件費(電子対象外)」は、電子成果品作成費を除く、全ての諸経費を対象とする費用です。

8 業務委託における電子成果品作成費の計上について

「総括情報表」記載の「電子成果品作成費計上」選択項目による、業務区分ごとの電子成果品作成費の計上方法は以下のとおりとなります。

詳細は積算基準〔2 調査関係〕を参照してください。

↓選択項目 \ 業務区分→	測量業務委託	一般調査業務	設計業務委託
00設計業務に率計上しない	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	—
01詳細設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	概略設計, 予備設計又は詳細設計
02その他の設計業務に率計上	測量業務積算基準	その他機械ボーリング関連	その他の設計業務
05率計上しない	—	—	—

9 パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日について

パッケージコードにおける、標準単価及び東京単価適用日については、単価適用日の「新潟県土木工事等基礎（公表）単価表」に記載の、新潟県土木工事等基礎（公表）単価表について、2. 掲載内容を参照してください。

＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊ 工事数量総括表

仮設工における規格・数量は他の設計図書に明示されていない限り積算のための参考数量である。

費目・工種明細など	規格 1 ・ 規格 2	単 位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減
＊ ＊ 本工事費 ＊ ＊					
道路維持		式			
冬期対策施設工		式			
作業土工		式			
床掘り		一式			
床掘り		m3		20	
土砂等運搬		一式			
土砂等運搬		m3		20	
整地		一式			
整地		m3		20	
冬期安全施設工		式			
消雪パイプ打換		一式			
構造物とりこわし		m3		29	
有筋C0殻運搬		m3		29	
有筋C0処分費(t)		t		73	
プレキャスト散水管 65A (Ⅱ型)		m		185	
プレキャスト散水管 80(75)A (Ⅱ型)		m		52	
目地板		m2		4	

モルタル練		m3		9	
基礎碎石		m2		107	
継手その他資材費		式		1	
舗装工		式			
舗装仮復旧		一式			
舗装版切断		m		474	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		49	
AS殻運搬		m3		2	
AS殻処分費(t)		t		6	
表層(車道・路肩部)		m2		4	
舗装本復旧		一式			
舗装版切断		m		474	
舗装版破碎積込(小規模土工)		m2		106	
AS殻運搬		m3		5	
AS殻処分費(t)		t		12	
表層(車道・路肩部)		m2		106	
交通管理工		式			
交通誘導警備員		一式			

交通誘導警備員B			人日		40	
直接工事費						
共通仮設費（率分）						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

参 考 資 料

この「参考資料」は、入札参加者の適性かつ迅速な見積に資するための資料であり、建設工事請負基準約款第1条にいう設計図書ではない。

従って「参考資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

総括情報表

設計書名 事業名 適用単価区分 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	実施設計書 1 実施単価 25 津川① 0-07.09.20(0) 1 一般土木	
	当 世 代	前 世 代
工種区分 施工地域区分 現場環境改善費 前払率 契約保証に係る保証 消費税率 労務単価の補正率 週休2日補正の有無 ICT3D出来形・納品補正 小型車補正	02 河川・道路構造物 08 一般交通影響有(2)-2 00 なし 40 40% 01 金銭的保証 04 10% 21 0%:補正なし 14 通期(現場閉所)R6.10 00 なし(R02.10.20~) 00 小型車補正なし	

工事番号	
工事名	
商号又は名称・代表者名	
住所	
内容について説明できる者の氏名	
その者の電話番号	

※本ファイルを工事費内訳書として
提出する場合、左の欄も忘れずに入力
してください。

** 本工事費 ** 内訳表

費目・工種・施工名称・管理費区分	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
** 本工事費 **						X1000
道路維持						Y1000000031
冬期対策施設工			式			Y2000000289
作業土工			式			Y3000001753
床掘り			式			Y4000022908
土質:土砂			一式			SCB210030
0 省略	20	m3				施工 第0-0001号内訳表
土砂等運搬						Y4000022918
土質:土砂(岩塊・玉石混り土含む)			一式			SCB210110
土砂等運搬						施工 第0-0002号内訳表
0 省略	20	m3				Y4000022917
整地						
作業区分:残土受入れ地での処理			一式			

整地					SCB210610
0 省略	20	m3			施工 第0-0003号内訳表
冬期安全施設工					Y3000001819
		式			
消雪パイプ打換					Y4901
0 省略		一式			
構造物とりこわし					SWB824010
0 省略	29	m3			施工 第0-0004号内訳表
有筋CO搬運搬 富士建材					SCB227010
0 省略	29	m3			施工 第0-0005号内訳表
有筋CO処分費(t) 富士建材					SWB020052
0 省略	73	t			施工 第0-0006号内訳表
プレキャスト散水管 65A (Ⅱ型) 昼間施工					W2001
積算資料北陸版 0 省略	185	m			572
プレキャスト散水管 80(75)A (Ⅱ型) 昼間施工					W3001
積算資料北陸版 0 省略	52	m			572
目地板					SCB224710
0 省略	4	m2			施工 第0-0007号内訳表
モルタル練					SCB240060
0 省略	9	m3			施工 第0-0008号内訳表
基礎碎石					SCB221110
0 省略	107	m2			施工 第0-0009号内訳表
継手その他資材費					V1000
0 省略	1	式			施工 第0-0010号内訳表
舗装工					Y3901
0 省略		式			
舗装仮復旧					Y4901
0 省略		一式			

舗装版切断				SCB430510
0 省略	474	m		施工 第0-0011号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)				SCB210720
0 省略	49	m2		施工 第0-0012号内訳表
AS殻運搬 富士建材				SCB227010
0 省略	2	m3		施工 第0-0013号内訳表
AS殻処分費(t) 富士建材				SWB020052
0 省略	6	t		施工 第0-0014号内訳表
表層(車道・路肩部)				SCB410260
0 省略	4	m2		施工 第0-0015号内訳表
舗装本復旧				Y4901
0 省略		一式		
舗装版切断				SCB430510
0 省略	474	m		施工 第0-0011号内訳表
舗装版破碎積込(小規模土工)				SCB210720
0 省略	106	m2		施工 第0-0012号内訳表
AS殻運搬 富士建材				SCB227010
0 省略	5	m3		施工 第0-0013号内訳表
AS殻処分費(t) 富士建材				SWB020052
0 省略	12	t		施工 第0-0014号内訳表
表層(車道・路肩部)				SCB410260
0 省略	106	m2		施工 第0-0016号内訳表
交通管理工				Y3000003675
		式		
交通誘導警備員				Y4000026601
		一式		
交通誘導警備員B				SWB010212
0 省略	40	人日		施工 第0-0017号内訳表

直接工事費						
共通仮設費（率分）						
共通仮設費計						
純工事費						
現場管理費（率分）						
現場管理費計						
工事原価						
工事原価計						
一般管理費等						
契約保証費						
一般管理費等計						
工事価格						
消費税相当額						
工事費						

床掘り

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB210030 施 工 内 訳 表

施工 第0-0001号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 2, 170.7

機械構成比： 19.87% 労務構成比： 72.99% 材料構成比： 7.14% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	バックホ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3	19.87%	円/供用日	バックホ(クロー) [後方超小旋回型] 排ガス型(第2次) 山積0.28m3		MMJ0202096 MM090202096
R1t	運転手(特殊)	39.96%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
R2t	普通作業員	33.03%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t	軽油	7.14%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	土質 施工方法 費用の内訳	=1 =5 =1	土砂 上記以外(小規模) 全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \}$					

土砂等運搬

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB210110 施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 1, 766.5

機械構成比： 24.45% 労務構成比： 63.42% 材料構成比： 12.13% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	24.45%	円/供用日	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 4t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010020 MPM93010020
R1t	運転手(一般)	63.42%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	12.13%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	土砂等発生現場 積込機種・規格 土質	=2 =5 =1	小規模 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			
	DID区間の有無 運搬距離(km) (DID区間無)	=1 =7	無し 5.0km以下			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $\left. + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r} \right.$					
	[材料補正] $\left. + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$					
	[全体調整] $\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$					

整地

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB210610 施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号内訳表
1 m3 当り

機械構成比： 23.13% 労務構成比： 51.64% 材料構成比： 25.23% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 123.38

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	バックホウ(クローラ) [標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)	23.13%	円/日	バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8m3 (平積0.6m3)		TLC1010007 TL091010007
R1t	運転手(特殊)	51.64%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t	軽油	25.23%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	作業区分	=1	残土受入れ地での処理			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	$\left. + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r} \right.$					
	$\left. + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$					
	[全体調整] $\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$					

構造物とりこわし

SWB824010 施 工 内 訳 表

07年09月20日適用
施工 第0-0004号内訳表
1 m3 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
鉄筋構造物 昼間機械施工制約無	1.000	m3			TQJ1611007 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	m3			
構造物区分	=2	鉄筋構造物			
工法区分	=1	機械施工			
時間的制約の有無	=1	無し			
夜間作業の有無	=1	無し			
低騒音・低振動対策	=2	不要			

有筋CO殻運搬
富士建材

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB227010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 4, 033.5

機械構成比： 41.69% 労務構成比： 43.88% 材料構成比： 14.43% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	41.69%	円/供用日	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 10t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010050 MPM93010050
R1t	運転手(一般)	43.88%	円/人	運転手(一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	14.43%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業	=2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし			
	積込工法区分	=1	機械積込			
	DID区間の有無	=1	無し			
	運搬距離(km) (DID区間有無)	=9	28.4km以下			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $\left. + \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r} \right.$					
	[材料補正] $\left. + \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r} \right.$					
	[全体調整] $\left. + \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \right\}$					

有筋C0処分費(t)
富士建材

SWB020052 施 工 内 訳 表

07年09月20日適用
施工 第0-0006号内訳表
100 t 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
処分費	100.000	t			TFJA0604343 T 処分費等
計	100	t			
小計	1	t			

目地板

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB224710 施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 3, 855.3

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 63.93% 材料構成比： 36.07% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
R1t	普通作業員	47.13%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	土木一般世話役	16.49%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	瀝青質目地板 厚10mm	36.07%	円/m2	瀝青繊維質目地板 厚 1 0 mm		TZJ4150001 TZ094152001
	積算単価			積算単価		EP001
	1工事当り使用量 目地板の種類	=1 =1	30m2未満 瀝青質目地板t=10			
	【補正式】 P' = P					
	[労務補正] $\times \left\{ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r} \right.$					
	+ $\left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Rr - Zr}{100}$					

SCB240060 施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 94,888

機械構成比： 0.00% 労務構成比： 83.30% 材料構成比： 16.70% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
R1t	普通作業員	55.43%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	土木一般世話役	27.71%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	セメント(普通ポルトランド) 25kg袋入	11.28%	円/t	セメント (高炉B) 25kg袋入		TZJ2002006 TZ092002008
Z2t	コンクリート用骨材 砂(洗い) 細目	5.42%	円/m3	コンクリート用骨材 砂 洗い 細目		TZJ2104002 TZ092104002
修正						
積算単価				積算単価		EP001
セメント種類 費用の内訳		=1 =1	普通 全ての費用			
【補正式】 P' = P						
[労務補正] $\times \left\{ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r} \right.$						
[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$						
[全体調整] $+ \frac{100 - Rr - Zr}{100} \}$						

基礎砕石

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB221110 施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 1, 206.1

機械構成比： 5.58% 労務構成比： 77.45% 材料構成比： 16.97% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	バックホ(クローラ) [標準] 山積0.8m3(平積0.6m3)	5.55%	円/日	バックホウ (クローラ) [標準] 山積0.8m3 (平積0.6m3)		TLC1010007 TL091010007
R1t	普通作業員	37.13%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R2t	特殊作業員	15.71%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R3t	運転手(特殊)	14.81%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
R4t	土木一般世話役	9.27%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	クラッシャーラン 40mm	11.93%	円/m3	再生クラッシャーラン RC-40		TZJ2120003 TZ092122003
Z2t	軽油	5.01%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	砕石の厚さ	=2	7.5cmを超え12.5cm以下			
	砕石の種類	=1	クラッシャーラン C-40			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	〔機械補正〕 $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	〔労務補正〕 $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right] \times$					Rr

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

施工内訳表

施工 第0-0009号内訳表

1 m2 当り

機械構成比： 5.58% 勞務構成比： 77.45% 材料構成比： 16.97% 市場單價構成比： 0.00%

標準単価： 1, 206.1

[illegible]

07-实施-一般-2101-当初

継手その他資材費

V1000

施 工 内 訳 表

施工 第0-0010号内訳表
1 式 当り

07年09月20日適用

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
ストラップカップ リング クリップ タイプ (G型) 80A 一般配管用(標準品) 80A	2	個			T0111 0 省略
ストラップカップ リング クリップ タイプ (G型) 65A 一般配管用(標準品) 65A	2	個			T0112 0 省略
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手(TS継手) 径違いソケット 75×65	2	個			TN2318 0 省略
水道用硬質ポリ塩化ビニル管継手(TS継手) チース 径75×75	1	個			TN2354 0 省略
小計	1	式			

SCB430510

施工内訳表

施工第0-0011号内訳表

1m当り

機械構成比：15.42% 労務構成比：57.13% 材料構成比：27.45% 市場単価構成比：0.00%

標準単価：673.26

代表機材規格		構成比	単価(津川①)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
K1t	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm	10.49%	円/供用日	コンクリートカッタ[バキューム式(超低騒音型)] 湿式 切削深20cm級 ブレード径φ56cm		MMJ1161013 MM091161013
R1t	特殊作業員	19.60%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t	土木一般世話役	10.55%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
R3t	普通作業員	8.73%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
Z1t	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ	23.29%	円/枚	コンクリートカッタ (ブレード) 径18インチ		TZJ6540009 TZ096540009
Z2t	ガソリン レギュラー	2.83%	円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
	積算単価			積算単価		EP001
	舗装版種別 アスファルト舗装版厚 費用の内訳	=1 =1 =1	アスファルト舗装版 15cm以下 全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right.$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r}$					

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

施工内訳表

機械構成比：	15.42%	勞務構成比：	57.13%	材料構成比：	27.45%	市場単価構成比：	0.00%	標準単価：	673.26
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------	-------	-------	--------

[illegible]

07-实施-一般-2101-当初

SCB210720 施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号内訳表
1 m2 当り
標準単価: 1, 690.8

機械構成比: 20.80% 労務構成比: 71.28% 材料構成比: 7.92% 市場単価構成比: 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	小型バックホ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.80%	円/供用日	小型バックホ(クロー) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3		MMJ0201034 MM090201034
R1t	運転手(特殊)	71.28%	円/人	運転手 (特殊)		RR0114 RR9114
Z1t	軽油	7.92%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \{ [\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t}] \times \frac{Kr}{K1r}$					
	[労務補正] $+ [\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t}] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ [\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t}] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100} \}$					

AS殻運搬
富士建材

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB227010 施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号内訳表
1 m3 当り
標準単価： 12, 076

機械構成比： 18.57% 労務構成比： 72.35% 材料構成比： 9.08% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)	18.57%	円/供用日	ダンプトラック[オロート・ディーゼル] 2t積級(タイヤ損耗費及び補修費(良好)含む)		MPM03010010 MPM93010010
R1t	運転手(一般)	72.35%	円/人	運転手 (一般)		RR0115 RR9115
Z1t	軽油	9.08%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	殻発生作業	=3	舗装版破碎			
	積込工法区分	=4	機械積込(小規模土工)			
	DID区間の有無	=1	無し			
	運搬距離(km) (DID区間無)	=13	28.5km以下			
	費用の内訳	=1	全ての費用			
	【補正式】 P' = P					
	[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} \right] \times \frac{Kr}{K1r} \right\}$					
	[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} \right] \times \frac{Rr}{R1r}$					
	[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r}$					
	[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$					

AS殻処分費(t)
富士建材

SWB020052 施 工 内 訳 表

07年09月20日適用
施工 第0-0014号内訳表
100 t 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
処分費	100.000	t			TFJA0604343 T 処分費等
計	100	t			
小計	1	t			

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 2, 767.4

機械構成比： 0.44% 労務構成比： 43.60% 材料構成比： 55.96% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格			構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 運転質量0.5~0.6t	0.24%		円/供用日	振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 運転質量0.5~0.6t		MMJ0804001 MM090804001
K2t	振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg	0.14%		円/供用日	振動コンパクタ[前進型] 機械質量40~60kg		MMJ0807001 MM090807001
R1t	特殊作業員	19.29%		円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t	普通作業員	13.81%		円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R3t	土木一般世話役	4.17%		円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	②粗粒度アスコン(20)	54.13%		円/式	アスファルト混合物 密粒度 (2 0) 平均仕上り厚 5 0 mm		TZJ4100002 TZP91000030
Z2t	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	1.60%		円/L	アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用		TZJ4130003 TZ094130003
Z3t	ガソリン レギュラー	0.17%		円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
Z4t	軽油	0.03%		円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価				積算単価		EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) 材料	=1 =50 =9		1.4m未満(仕上厚50mm以下) 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) ②粗粒度アスコン(20)			
	瀝青材料種類 費用の内訳	=1 =1		タックコート PK-4 全ての費用			

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号内訳表
1 m2 当り

機械構成比： 0.44% 労務構成比： 43.60% 材料構成比： 55.96% 市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 2,767.4

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
【補正式】 P' = P						
[機械補正] $\times \left\{ \left[\frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} \right] \times \frac{Kr}{K1r + K2r} \right.$						
[労務補正] $+ \left[\frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} \right] \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r}$						
[材料補正] $+ \left[\frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right] \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r + Z4r}$						
[全体調整] $+ \frac{100 - Kr - Rr - Zr}{100}$						

表層(車道・路肩部)

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

SCB410260 施 工 内 訳 表

施工 第0-0016号内訳表
1 m2 当り
標準単価： 2, 767.4

機械構成比： 0.44% 労務構成比： 43.60% 材料構成比： 55.96% 市場単価構成比： 0.00%

代 表 機 労 材 規 格		構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単価(東京地区)	備 考
K1t	振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 運転質量0.5~0.6t	0.24%	円/供用日	振動ロー(舗装用) [ハンドガイト式] 運転質量0.5~0.6t		MMJ0804001 MM090804001
K2t	振動コンパクト[前進型] 機械質量40~60kg	0.14%	円/供用日	振動コンパクト[前進型] 機械質量40~60kg		MMJ0807001 MM090807001
R1t	特殊作業員	19.29%	円/人	特殊作業員		RR0101 RR9101
R2t	普通作業員	13.81%	円/人	普通作業員		RR0102 RR9102
R3t	土木一般世話役	4.17%	円/人	土木一般世話役		RR0125 RR9125
Z1t	⑦密粒度アスコン(新20FH)改質Ⅰ型	54.13%	円/式	アスファルト混合物 密粒度 (2 0) 平均仕上り厚 5 0 mm		TZJ4103002 TZP91000030
Z2t	アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	1.60%	円/L	アスファルト乳剤 P K - 4 タックコート用		TZJ4130003 TZ094130003
Z3t	ガソリン レギュラー	0.17%	円/L	ガソリン レギュラー		TZJ6704001 TZ096704001
Z4t	軽油	0.03%	円/L	軽油		TZJ6702002 TZ096702002
	積算単価			積算単価		EP001
	平均幅員 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) 材料	=1 =50 =14	1.4m未満(仕上厚50mm以下) 1層当平均仕上厚 50mm以下(mm) ⑦密粒度アスコン(新20FH)改質Ⅰ型			
	瀝青材料種類 費用の内訳	=1 =1	タックコート PK-4 全ての費用			

単価適用日/適用基準日 07年09月20日適用

施工 第0-0016号内訳表
1 m2 当り

代 表 機 労 材 規 格	構成比	単価(津川①)	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
---------------	-----	---------	---------------------	----------	-----

[illegible]

交通誘導警備員B

SWB010212 施 工 内 訳 表

07年09月20日適用
施工 第0-0017号内訳表
1 人日 当り

名称・規格など	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考 ・ 管 理 費 区 分
交通誘導警備員B		人			RR0804 1 0 省略
諸雑費(まるめ)	1.00	式			#80 0 省略
小計	1	人日			

単価入力データ一覧表①

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
Y4901	消雪パイプ打換		W2001	プレキャスト散水管 65A (Ⅱ型) 昼間施工 積算資料北陸版 (2025下期P74)	m	
Y4901	消雪パイプ打換		W3001	プレキャスト散水管 80(75)A (Ⅱ型) 昼間施工 積算資料北陸版 (2025下期P74)	m	

単価入力データ一覧表②

上位 コード	上位名称	第番号	単価 コード	単価名称 規格 1,規格 2,摘要名称	単位	金額
SWB020052	有筋C0処分費(t)	第0-0006号	TFJA0604343	処分費	t	
SCB240060	モルタル練	第0-0008号	TZJ2104002	コンクリート用骨材 砂(洗い) 細目	m3	
SWB020052	AS殻処分費(t)	第0-0014号	TFJA0604343	処分費	t	
SWB020052	AS殻処分費(t)	第0-0014号	TFJA0604343	処分費	t	

R 7 社会資本整備総合交付金事業 町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換第2期工事 数量調書

工 種	設計数量	単位	摘 要
作業土工			
床掘	20	m3	$(0.08 \times 150) + (0.08 \times 87) = 18.9\text{m}^3$
土砂等運搬	20	m3	〃
整地	20	m3	〃
消雪パイプ打換			
構造物とりこわし (C0)	29	m3	$(\square 0.35 \times 150) + (\square 0.35 \times 87) = 29.0\text{m}^3$
C0殻運搬	29	m3	〃
C0殻運搬 (有筋)	73	t	$29.0 \times 2.50 = 72.5\text{ t}$
消雪パイプ (プレキャスト) φ65	185	m	HIVPφ65A-SPⅡ-S
消雪パイプ (プレキャスト) φ75	52	m	HIVPφ75A-SPⅡ-S
目地版	4	m2	$0.09 \times 44\text{箇所} = 3.96\text{m}^2$ ※ $(230\text{m}/5.5\text{m}) + 2\text{箇所} = 43.8 = 44\text{箇所}$
モルタル練り (間詰工)	9	m3	$(0.03 \times 150) + (0.05 \times 87) = 8.9\text{m}^3$
コンクリート埋戻	5	m3	$0.03 \times 150 = 4.5\text{m}^3$ 早強コンクリート
基礎碎石	107	m2	$0.45 \times 237 = 106.6\text{m}^2$
継手その他材料費	1	式	3箇所
舗装仮復旧			
舗装版切断 (既設SP撤去時)	474	m	$237 \times 2 = 474\text{m}$
舗装版破碎積込 (小規模)	49	m2	$(0.15 \times 150) + ((0.15 + 0.15) \times 87) = 48.6\text{m}^2$
AS殻運搬	2	m3	$48.6 \times \text{t } 0.05 = 2.43\text{m}^3$
AS殻処分費	6	t	$2.43 \times 2.35 = 5.71\text{ t}$
表層 (車道・路肩部) 仮復旧	49	m2	$(0.15 \times 150) + ((0.15 + 0.15) \times 87) = 48.6\text{m}^2$ ②粗粒度AS (20)
舗装本復旧			
舗装版切断	474	m	$237 \times 2 = 474\text{m}$
舗装版破碎積込 (小規模)	106	m2	$(0.30 \times 150) + ((0.40 + 0.30) \times 87) = 106\text{m}^2$
AS殻運搬	5	m3	$106.0 \times \text{t } 0.05 = 5.29\text{m}^3$
AS殻処分費	12	t	$5.29 \times 2.35 = 12.43\text{ t}$

R7 社会資本整備総合交付金事業 町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換第2期工事 数量調書

[illegible]

交通整理員 を要する日数

算 定 表

工 種	種 別	日 当 り 施 工 量	単 位	本 工 事 施 工 量	必 要 日 数	備 考
床掘（小規模）		37	m3	20	0.5	
基礎碎石		155	(0.08	107	0.7	
消雪パイプ（プレキャスト）		22	m	237	10.8	
舗装版切断	既設SP撤去時	230	m	474	2.1	
舗装版切断	舗装本復旧時	230	m	474	2.1	
舗装版破碎積込		29	260	(□0.4	49	0.2
舗装版破碎積込		29	260	m2	106	0.4
表層工（仮復旧）		73	250	2.50＝	49	0.2
表層工（本復旧）	1.4m未満, 50mm以下		250	m2	106	0.4
構造物とりこわし		52	11	m3	29	2.6
小計					20	
	まるめ				$0.03 \times 150) + (0.05 \times 87) = 8.9m$	20.0

交通整理員 の所要日数等

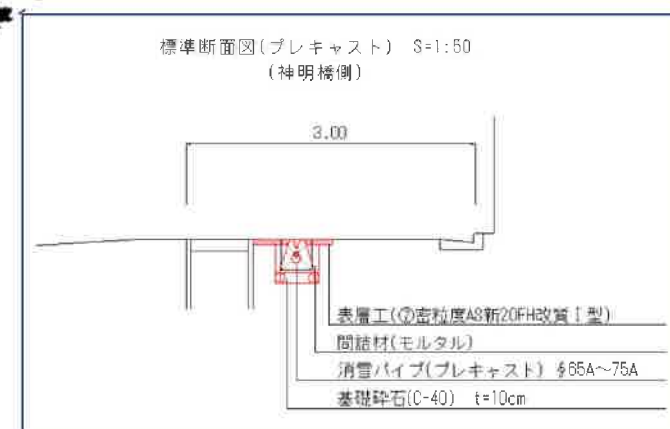
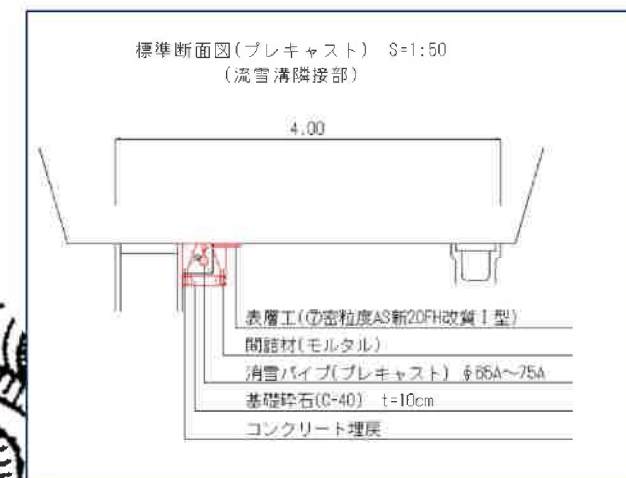
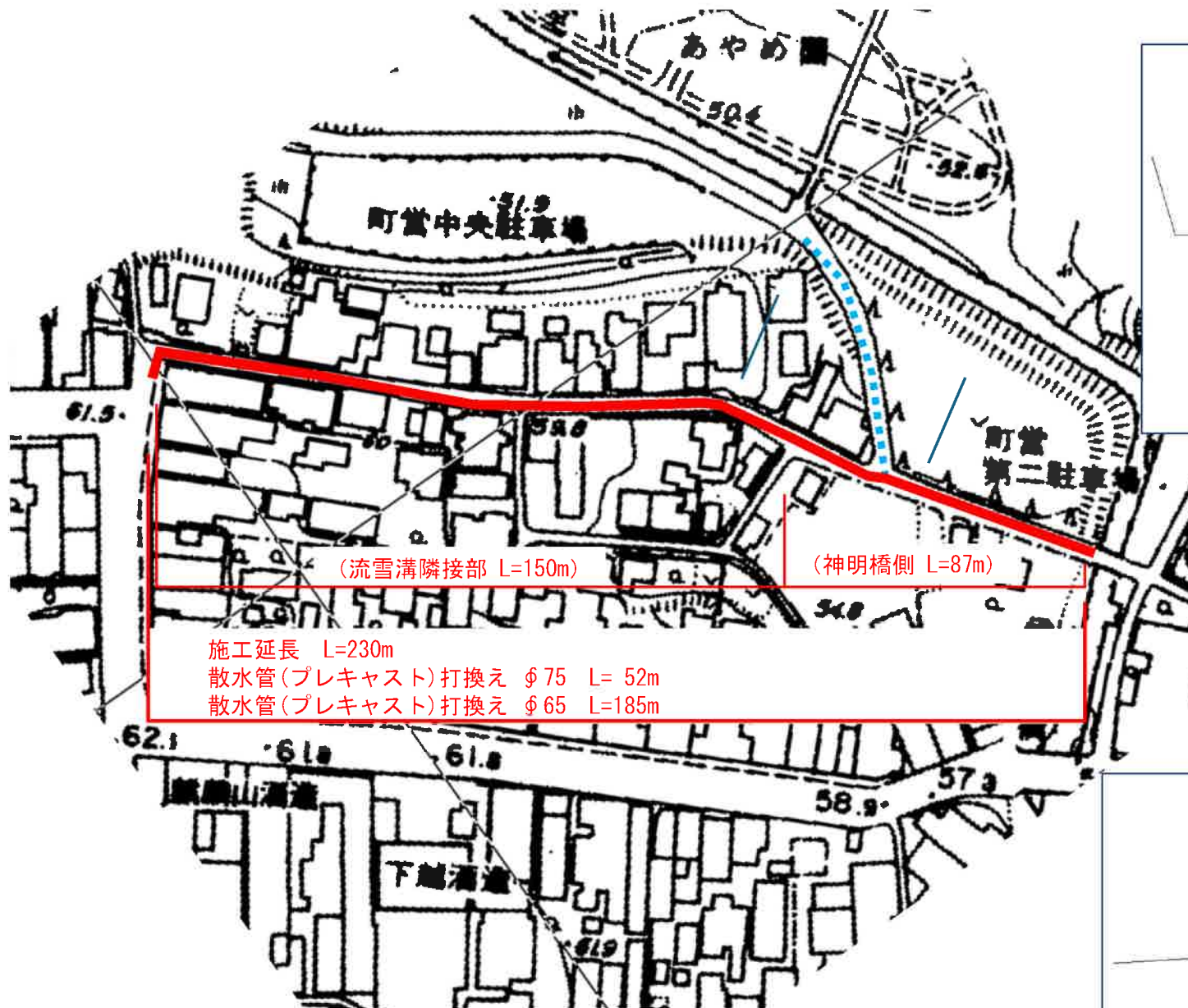
107

鉄砲町原町線

$0.45 \times 237 = 106.6m^2$

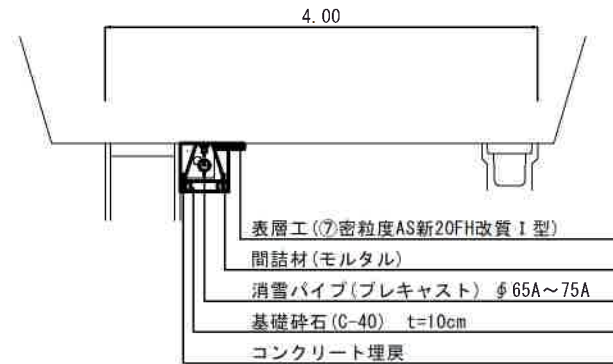
20.0 日 × 2 人 = 40人日

R7阿建社交第1-001号 町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換工事

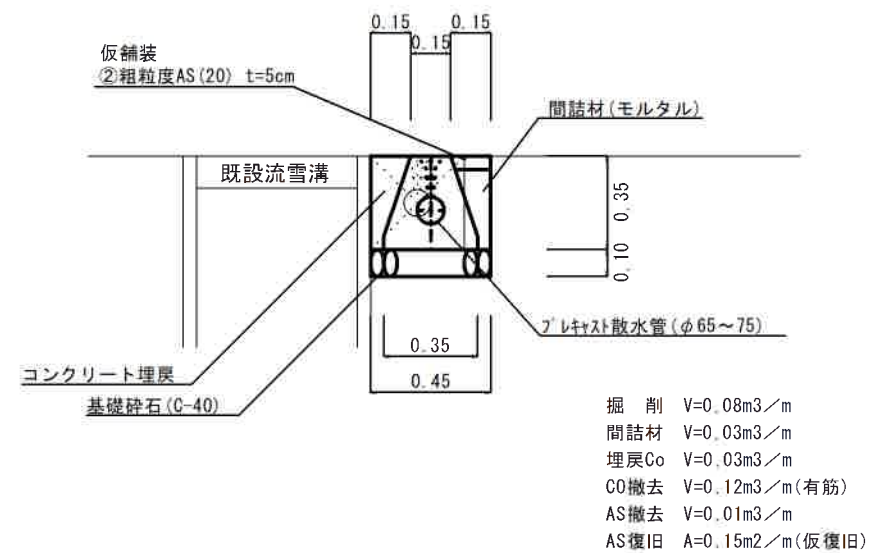


R7阿建社交第1-001号 町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換工事 (流雪溝隣接部)

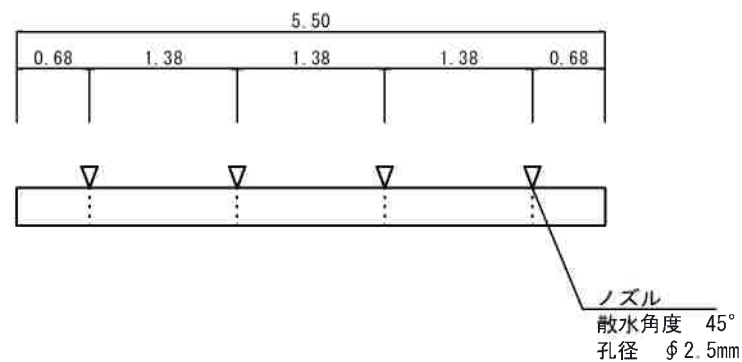
標準断面図(プレキャスト) S=1:50
(流雪溝隣接部)



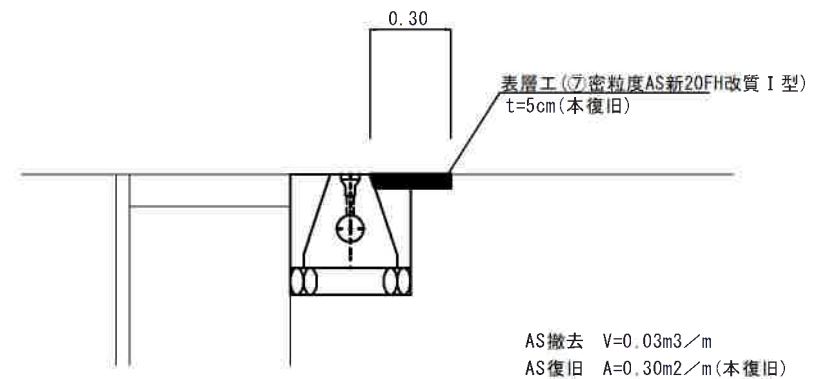
標準断面図（仮復旧） S=1:20
(流雪溝隣接部)



散水用ノズル位置(タイプⅡ) S=1:50

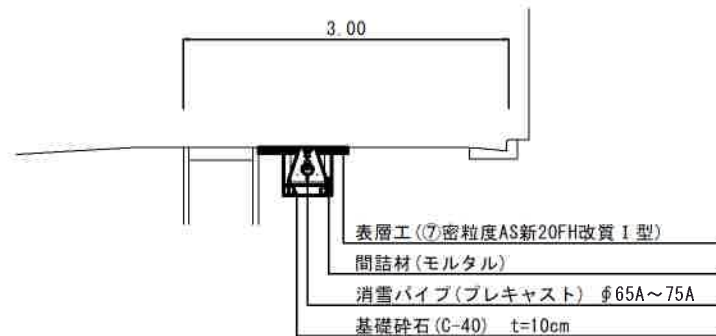


標準断面図（本復旧） S=1:20
（流雪溝隣接部）

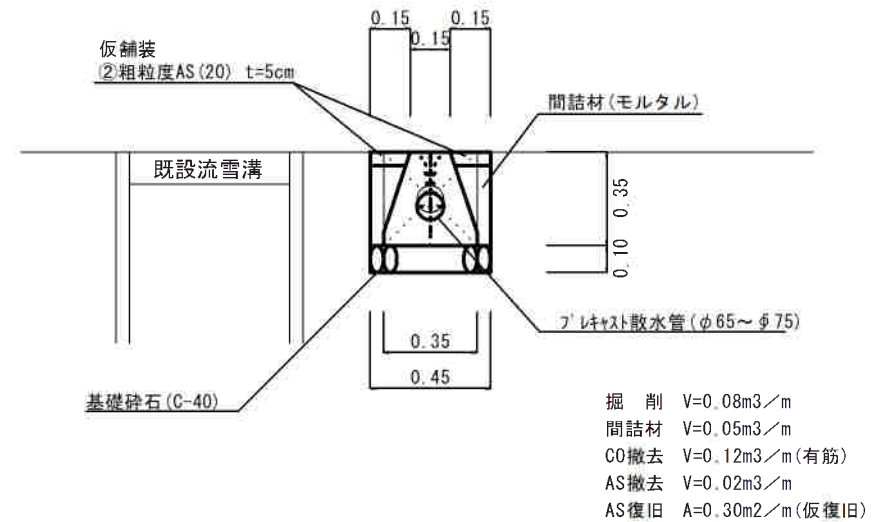


R7阿建社交第1-001号 町道鉄砲町原町線消雪パイプ打換工事 (神明橋側)

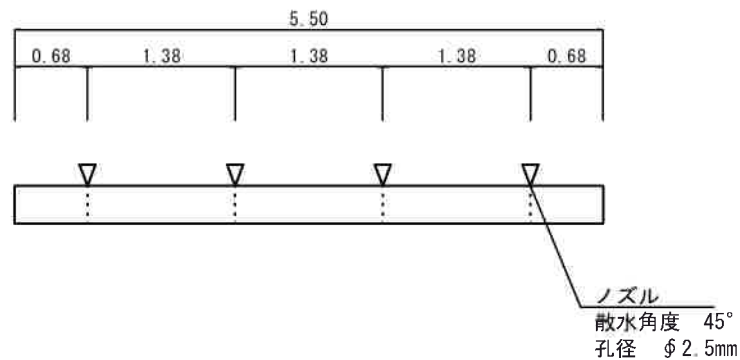
標準断面図(プレキャスト) S=1:50
(神明橋側)



標準断面図 (仮復旧) S=1:20
(神明橋側)



散水用ノズル位置 (タイプ II) S=1:50



標準断面図 (本復旧) S=1:20
(神明橋側)

